

高圧ガス事故事例情報シート

整理番号 H19-17	事故名称 LPガス容器配送中における漏えい			
発生日 2007年6月13日	事象 噴出・漏えい		原因大分類 人	KHK Code 2007-0299
発生場所 厚木市	ガスの種類 液化石油ガス		原因中分類 誤操作、誤判断	
事故区分 移動	死者 0	重傷 1	軽傷 0	原因補足 保護キャップの取扱い
事故状況 <p>容器交換を行った後、車両荷台に積載した残ガス容器のキャップを締め直そうとして、誤ってバルブを開けてしまい、LPGが漏えいした。保護キャップを外してバルブを閉め、漏えいを止めたが、その際に革手袋を使用せずに軍手で作業したため、漏えいしたLPGで軍手が凍り、作業員が、凍傷を負った。推定漏えい量は2kg</p>				
事故原因 <p>容器のキャップを開ける際に、小さなスパナをキャップの穴に入れて回したため、スパナが容器バルブに触れて、バルブが開いてしまった。また、作業に当たって、革手袋を使用しなかったため、凍傷を負った。</p>				
措置・対策 <p>今後は、大型スパナを携帯させ、また作業時には革手袋を使用するよう保安教育を実施することとした。</p>				
教訓 <ol style="list-style-type: none"> 1. 出発前点検をチェックリストにて行う。チェックリストは事業主が作成するものとし、車輛(道路交通法)、高圧ガス輸送(高圧ガス保安法)の必要要件を含んだものとする。 <ol style="list-style-type: none"> (1)容器の転倒・転落防止の処置を行う。 (2)バルブの保護等の処置を行う。 (3)非常用機工具を携帯する。 (4)積載しているガスの名称、性状、及び災害防止のために必要な注意事項を記載した書面を携帯する。 2. 作業に適した機工具(大型スパナ)を使用する。 3. 革手袋は、容器取扱い時の巻き込み防止と凍傷防止のために使用する。 (軍手は被液した場合に浸み込み、蒸発熱により凍傷を負うので使用しない。) 				
【参考図書】 <p>「可燃性ガス(アセチレン等) 酸素の取り扱い上の注意」 全国高圧ガス溶材組合連合会</p>				